

コロナ禍における真の中小企業対策を求める決議

拡大を続ける新型コロナウイルス感染の影響で、地域は疲弊しきっています。感染防止対策が後手後手に回っている政策の下で、外出自粛要請や飲食業の営業時間短縮などが余儀なくされ、中小業者の経営を圧迫しています。

企業もいろいろ手を尽くしていますが限界にきており、年度末を控え中小企業の廃業・倒産はさらに増加する恐れがあります。

また、そこで働く労働者にとっても、雇用調整助成金が終了する3月末には大量の解雇・雇止めが発生することが懸念されます。

金融労連は、壊滅的な被害を受けている中小企業に対し、持続化給付金の再交付や無利息の融資・利子補給制度・資金繰り支援などの支援策の継続と拡充を政府に求めるとともに、金融機関の経営者に対し取引先に寄り添った経営支援・再生支援を拡充するよう求めています。

私たちは金融機関の労働者として、中小企業者とそこで働く労働者とともに経済の再生・活性化のために力を合わせていきましょう。

以上、決議する。

2021年1月24日

全国金融労働組合連合会
第15回中央委員会